

キッchenのお手入れの悩み
スッキリ解決!

大掃除やお正月の準備で慌ただしいこの時期。

手間&時間がかかるキッchenのお掃除は、効率よく済ませたいものです。そこで今回は、年末の大掃除スペシャル企画として、

前編『お掃除術』と後編『簡単リフォーム』の4ページにわたり、キッchenのお手入れの悩みに関するスッキリ解決策をご紹介します！

コンロと換気扇の油汚れに! 技あり『お掃除術』



種類と色調	発生場所	発生原因	お手入れポイント
食品汚れ (うす黄~灰)	カウンター シンク 排水口	食品のカスや調味料などがくっついてしまったもの。	水拭きで落とします。落ちにくい時は台所用合成洗剤(中性タイプ)を使用。放つておくとシミやカビの元となるので早めにお手入れしましょう。
水あか(白)	シンク 水栓金具	水道水に含まれるケイ酸やカルシウムなどのミネラル分が、製品表面に斑点模様状に積み重なったもの。	台所用合成洗剤(中性タイプ)を使って落とします。市販のステンレス用コンパウンド(クリーナー)も使えます。
油、変性油汚れ (うす黄~茶)	レンジフード コンロまわり	料理するときに飛散した油や油煙が付着したもの。	長時間放っておくと酸化して樹脂状に変化して取れにくくなるので、できるだけ早めにふき取りましょう。初期の汚れなら台所用合成洗剤(中性タイプ)で落とせます。樹脂化した変性油汚れは、中性洗剤の浸け置きで時間をかけて落とします。
こげつき汚れ (灰~こげ茶)	コンロ ゴトク	こぼれた煮汁や油分が加熱分散して炭化したもの。	台所用クリームクレンザーを使って落とします。
もらいサビ (茶)	シンク 水栓まわり カウンター	缶詰の缶や金物などを置いたままにした場合などにつくサビ汚れ。	台所用クリームクレンザーを使って落とします。
カビ (黒)	シンクまわり カウンターまわり	カビの発生条件は、温度、水分、栄養分の3つが揃ったとき。栄養源は食品カスなどの汚れです。	栄養源となる汚れを取り除きます。進行したカビは、カビ取り剤で落とします。



毎日使うコンロまわりは、日頃のこまめなお掃除が大切です！
汚れをためず「使ったらすぐ」「汚れたらすぐ」お手入れするように心がけましょう。
最近のガスコンロや換気扇は、新素材の採用やさまざまな工夫で、
お手入れがしやすくなっています。



毎日のお手入れが簡単ラクラクに！
次のページでは、最新の
ガスコンロやレンジフードへ
取り替える、簡単リフォームプランを
ご紹介します。



キッchenのお手入れの悩み『コンロ』と『換気扇』のお掃除術

読者のみなさまからご投稿いただいたキッchenのお手入れの悩み。なかでも多かったのが、コンロまわりと換気扇の『技あり! お掃除術』についてご紹介します。



エプロンMEMO

そもそも大掃除は…年神様をお迎えする『すす払い』
大掃除は、江戸時代に江戸城で行われていた『すす払い』が始まりとされています。『すす払い』とは、元旦にその年の豊作や家内安全をもたらしてくれる『年神様』を迎える準備のための行事のこと。その当時は単に掃除をするだけではなく、神棚や仏壇、城内を清めるという信仰的な意味があったようです。現在では「気持ちよく新年を迎える」という意味で、年末の大掃除が習慣となっています。